

## 次なる戦いに向かって進め その2

翻って、この高校生活の3年間は、磐城高校というコバルトブルーの花を咲かす戦いであったはずだ。それが、未来を切り開く闘いへの布石であったはずである。

だから、今、私や君たちの身体を切り刻むと、間違いなく、コバルトブルーの血がしたたり落ちる。私や君たちの頭蓋を開けると、太平洋の潮風の風が香る。

冬の日差しの暖かさと夏の吹き通う海風の涼しさから、養うことができた友人と地域の人々の輪によってつながる人の森が、このいわきの地に広がっていくように、君たちのこの行く先にも、様々な人との出会いと喜びによって積み上げることのできる地層が広がるのであろう。

想いは裏切らないと私は考える。想像力こそすべてであると私は実感する。イマジネーションが、間違いなく、次なるイノベーションを誘い、インベンションを、クリエイティビティを生み出していく。

ということから、冷静に次なる手立てを考慮して、挑戦なのか、守備なのか、実力相当の確保なのかを明確に、戦略を立ててほしい。

しかし、チャレンジの精神を持つものにはかなわないので、いったん守勢に回ったとしても、攻撃的に守らないといけないし、攻めるのであればとことん攻め続けることが肝要であるし、これらの計画については覚悟が必要である。

ただし、こちら側の優位さを少しでも位置づける手立ては必要だろう。

- 1 得意科目を生かすことができるか
- 2 日程などに余裕を持つことができるか
- 3 精神的な強みの裏打ちをすることができるか
- 4 とことんその学校について専門家となっているか

等をぜひ考慮していただきたい。今週中の戦略会議の終了から、速やかに戦闘態勢を構築してほしい。

あと、2か月間の辛抱である。必ず花は咲くので、信じた道をまっすぐに進んでほしい。必ず夢はかなうはずだ。

この2か月間の戦いによって、生涯を生き抜く力も身に着けてください。間違いなくこの学習は、あなたたちの大人の始まりとなるでしょう。心に余裕を持ちつつ、焦らず慌てずあきらめず、明日を信じて進んでください。

